

国際原子力機関（IAEA）による福島第一原子力発電所1～4号機の廃炉に向けた取り組みに関する第3回レビューの最終報告書とりまとめについて

<参考資料>
2015年5月14日
東京電力株式会社

■2月9日～17日に第3回IAEA廃炉レビューミッションを実施。廃炉・汚染水対策が、前回ミッション（2013年11月～12月）から“良好な進捗を達成している（achieved good progress）”と評価

- ✓ ビューミッション：2015年2月9日～17日
専門家派遣（K排水路等への追加調査）：
2015年4月17日～21日
- ✓ 最終報告書には20件の評価できる点、15件の助言事項が記載
（追加調査の結果として、排水路汚染源からの流入調査・除染の取り組みを評価するとともに、これを継続することを奨励）



レビューミッション(2月)



専門家派遣（追加調査）（4月）

具体的な評価事項、助言事項（抜粋）

	評価できる点	助言事項
廃炉戦略	<ul style="list-style-type: none"> ■ロードマップ改訂への取り組み等、政府・東電・廃炉等支援機構による統合的な計画策定への取り組み 	<ul style="list-style-type: none"> ■関連する組織の責任の明確化 ■安全に関するリーダーシップは東電の責務であることを強調
広報	<ul style="list-style-type: none"> ■リスクコミュニケータの活用等による公衆とのコミュニケーション強化 	<ul style="list-style-type: none"> ■ソーシャルメディアのコメント・疑問に対する双方向的対話の促進
地下水・汚染水管理	<ul style="list-style-type: none"> ■汚染水処理対策全般（重層的な水処理対策、タンク建設、サブドレン等）に対する取り組み 	<ul style="list-style-type: none"> ■新規の技術を導入する場合は試験と運転条件の最適化には時間がかかりえることを考慮すること ■処理した汚染水貯蔵に関する持続可能な解決策の必要性
使用済燃料・燃料デブリ対策	<ul style="list-style-type: none"> ■4号機燃料の取り出し ■汚染拡大最小化への取り組み 	<ul style="list-style-type: none"> ■使用済燃料・燃料デブリ取出計画のリスク評価（全体の安全性、作業安全・作業員被ばくを考慮したリスク分析）